

【所属名：環境生活課】

【会議名：第4回糸魚川市環境審議会】

会 議 録

作成日 平成24年3月23日

日	平成24年3月22日	時間	13:30 ~ 16:00	場所	本庁 201・202 会議室
件名	議題 環境基本計画 PDCA 進行管理について (公開)				
出席者	【出席者】 12人 佐藤(芳)委員 鷺澤委員 磯貝委員 小笠原委員 小野委員 恩田委員 小林委員 杉野委員 田村委員 清水委員 山岸委員 山本委員				
	【欠席者】 2人 佐藤(晋)委員 吉田委員				
傍聴者	【事務局】 吉岡部長、渡辺課長、渡辺副参事、福光主査、井上主任主事				
	傍聴者定員	人	傍聴者数	0人	

会議要旨

1	開会	進行 渡辺課長
2	会長あいさつ	佐藤(芳)会長
3	議事	
《主な質疑・意見》		
	・環境基本計画 PDCA 進行管理表について	
【委員】	木材は大変高価である。業者への徹底指導や建物に利用する際にどれほどのコストダウンが可能か等、市民周知を行っていただきたい。地域学習として、森林の多面的機能を学ぶことは大変重要である。	
【事務局】	森林を市の大切な資源として、環境を保全しながら間伐材を利用するなど、地域振興などに活用していきたい。	
【委員】	市内でもイノシシが増えているようで、農作物被害対策を実施しているようだが、人身被害も起こる可能性があり、その対策を講じていただきたい。	
【事務局】	集落周辺に出没した場合は、ツキノワグマと同様に広報無線や安心安全メールなどで注意喚起を行うとともに、猟友会と連携を図り、捕獲など対策を講じており、今後とも人身被害防止に向け取り組んでいく。	
【委員】	最近、クマやイノシシが出没するようになった原因は、どういったことが考えられるか。	
【事務局】	昔は動物の住処である山と集落の間に里山があり、そこが境界となっていた。現在は里山が整備されておらず、その境界がなくなり人間の住む場所と動物の住処が隣り合うようになったことや、地球温暖化により生息域が広がっていることなどが原因と考えられている。	

- 【委員】 イノシシを捕獲する時期が、11月から短い期間しかないと聞いたことがある。また、わなによる捕獲も難しいと聞いているが、数を減らす対策を講じてもらいたい。
- 【事務局】 捕獲には、狩猟捕獲と許可捕獲があり、狩猟捕獲は11/15から2/15まで狩猟免許を持っている人が行える。
許可捕獲は、市が許可権を持っており、現在も継続して許可を出して猟友会に捕獲をお願いしている。特に捕獲に関して効果が高いとされている積雪期に多く捕獲してもらっている。
また、鳥獣対策の先進地から捕獲に関して情報を集め、捕獲数を増やすよう取り組んでいきたい。
- 【委員】 鳥獣対策の「課題と見直し」の項目について、周辺農地全体での被害防除と個体数の減少については別々なものなので、文章を変更した方がよいのではないかと。
- 【事務局】 ご指摘のとおり文章を変更する。
- 【委員】 わな技術講習会について、参加者が13人となっているが、狩猟免許取得者は今後増加する見込みはあるか。
- 【事務局】 狩猟免許取得に対する補助制度があり、平成22年は10件、平成23年には20件の申請があった。今後も捕獲者を増やす取り組みを行っていく。
- 【委員】 捕獲したイノシシを活用する方法（販売等）はないのか。
- 【事務局】 安定した供給が条件となるが、糸魚川市では、積雪期でないと捕獲が難しいのが現状である。
- 【委員】 市内での放射性物質の影響はどうなっているか。
- 【事務局】 ごみ処理施設の排出物を放射性物質の調査をしたが検出されなかった。
一般消費者からの食品調査依頼も市で受付し、上越環境科学センターで行っている。今まで3件調査したが検出されていない。
- 【委員】 森林資源の活用について、もっと積極的に取り組んではどうか。
- 【事務局】 森林の活用については、森林組合等を支援するかたちをとっている。今後、森林資源の活用方法などを研究する中で検討していく。
- 【委員】 これから自分たちでエネルギーを作り出すことが重要になってくると思う。糸魚川地域を発展させるため、水資源や森林資源の活用を検討してもらいたい。
- 【事務局】 庁内で、新エネルギー活用検討会を行っている。（現在はバイオマス・小水力・地熱の3部会）関係機関と連携を図り、新エネルギーの活用について研究・検討していく。
- 【委員】 不法投棄パトロールの結果はどうだったか。
- 【事務局】 人数を増やしパトロールを強化したことにより、いつ投棄されたごみか分からないが廃棄物を発見する数は多くなっている。
- 【委員】 パトロールによる不法投棄の原因者特定など成果はあったか。
- 【事務局】 昨年は1件原因者を特定し、ごみを持ち帰ってもらった事例がある。実際は原因者を特定できないことが多い。パトロールを強化したが、抑止効果より回収が増えたというのが現状である。投棄されやすい場所はだいたい決まっているので、休日・夜間パトロール等の検討も必要と考えている。
- 【委員】 どのようなごみが多いか。
- 【事務局】 タイヤや分別されていない家庭ごみが多い。

- 【委員】 以前、児童が描いた不法投棄禁止看板により、不法投棄が減ったということを知った。そのような取組について検討してもらいたい。
- 【事務局】 昨年、磯部小学校で手作りの「のぼり」を作成された際に、市から材料を提供した。不法投棄防止に向け積極的に協力していく。
- 【委員】 不法投棄がされやすい場所などを特定し、不法投棄が減るように対策を実施してもらいたい。
- 【事務局】 農道や林道の脇などの不法投棄されやすい場所を重点的に対策を実施していく。
- 【委員】 イノシシは捕獲してもよい動物か。
- 【事務局】 イノシシは狩猟鳥獣であり、捕獲してもよい動物である。
- 【委員】 指標の森林の間伐面積について、現状はあまり間伐が進んでないようだが対策等あるか。
- 【事務局】 カーボンオフセットなどいろいろ検討し、目標を達成できるよう取り組んでいきたい。
- 【委員】 木質ペレットの需要が高まっているようなので、そういったものを活用し、具体的な行動目標を立てるなど取り組んでももらいたい。
- 【事務局】 糸魚川市でペレット製造工場の計画がある。エネルギーの地産地消ということで、糸魚川産のペレット利用を条件としたペレットストーブの購入補助などを検討し、森林整備につなげていけるよう取り組んでいく。
- 【委員】 廃棄物処理についての「課題と見直し」で、「紙をビニール袋に入れ出すことも可能とする。」とあるが、どういった効果があるのか。
- 【事務局】 清掃センターで処理する燃やせるごみの約4～5割が紙・布類であり、そのリサイクル化が進んでいないのが現状がある。減量化には直接つながらないが、紙類のリサイクル化を進め、燃やせるごみの減量を図るものがある。
- 【委員】 学校における牛乳パックリサイクルの取組みについて、環境教育としてもよい取り組みだと思う。現在、実施している学校は2校か。
- 【事務局】 木浦小学校と上早川小学校で取り組んでいただいております、糸魚川東小学校で3月に1度取り組みいただいた。今後も取り組みが広がるように啓発に努める。
- 【委員】 電気自動車用急速充電器の設置について、糸魚川市では電気自動車がどれくらい普及しているか。また、なぜ設置場所が親不知ピアパークなのか。
- 【事務局】 市内では、電気自動車を個人で所有している方はいない。企業が数台所有している。近隣急速充電スポットは、上越市と魚津市であり、経路充電という意味で設置する。
- 【委員】 節電の取組みについて、毎月届く「電気量のお知らせ」には前月や前年同月の使用料金などが記載されているので、節電意識を高めるためその活用を啓発していけばよいのではないか。
- 【事務局】 昨夏実施した15%節電チャレンジは「電気量のお知らせ」を利用した取り組みであった。今後、多くの市民に広がるよう啓発に努める。
- 【委員】 ガレキ処理の受入状況についてどうなっているか。
- 【事務局】 被災地の復興に協力したいと考えるが、市では処理できる施設はない。民間のセメント会社では、それぞれの会社の方針などもあるので、今すぐ受け入れるということはない。今後、受け入れする場合には、市で放射線測定を行い市民の安心・安全を確保し、安全性の周知に努める。

【委員】 こどもエコクラブ参加校数について、実績がないようなので積極的に働きかければどうか。

【事務局】 参加校が増えるように教育委員会に働きかけていく。

【委員】 太陽光発電について、雪国ということもあるが実際導入された方から問題点などを把握しているか。

【事務局】 市の補助制度を利用された方へアンケートを実施し、感想や問題点の把握に取り組んでいる。冬季の悪天候時には発電しないようだが、天候が良くなると順調に発電するようであった。多くの方が満足しているとの結果であった。

【委員】 イノシシの農作物被害について、イノシシは一度に6頭も産むのでどんどん増えていくと聞いた。これからの被害拡大が心配だ。

【事務局】 ご質問のとおり、イノシシは1回に6～8頭出産するため増えていく。現在は、電気柵が一番効果があるが、設置場所以外で被害が発生してしまうので、捕獲数を増やすように先進地の対策技術などを取り入れていく。

【委員】 今回のPDCA進行管理表はとてもよくできている。事業の評価により、見直し、改善していくという繰り返しを行い、目標とする環境像に近づけていってもらいたい。

4 その他

【事務局】 委員の改選について、委員の任期が3月末で終了となるが、現在、糸魚川市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の審議いただいている途中であるため、引き続き現委員の皆様にご協力をお願いしたい。

6 閉会 鷺澤副会長